

入院させて頂きました先生と看護師さん達が丁寧な自然体で接して下さいました。リハビリの



〈謝辞〉

急な痛みのため



虹の意見箱

みなさまから貴重な声をいただいています



毎年恒例!

だるまの会で合格祈願!

今年も1月21日(土)に「だるまの会」を開催しました。この会は、阿智神社へ医師国家試験を受験する内定者の合格祈願へ行く、医師臨床研修センターの恒例行事です。今年も、1年次・2年次初期研修医、専攻医、プログラム責任者、事務担当者の10名が参加しました。昨年度のだるまを奉納し、合格祈願の絵馬には「祈!!合格!!」や「水協で待っています」など、先輩医師たちから内定者に向けてエールを綴りました。会の終わりにお楽しみ企画としてプレゼント交換を行い、それぞれが持ち寄った品物に個性が溢れていて、終始笑顔の絶えない楽しい時間となりました。



だるまの片目を入れる山本院長

試験本番は2月4日と5日です。4月から一緒に働けることを願っています。

(医師研修・医学生支援室 松田奈実)



動作がとてもよくて痛みが和らいでホッとしました。夜、よく眠れて幸いでした。昨夜半から朝方まで目が冴えて困りましたが、夜勤の看護師さんが灯りとお茶を入れて下さり本を読み朝を迎えることが出来ました。毎日の食事質量共に満足でした。10月6日7日のメニューも、格別でした。10月9日昼食の煮物美味です。患者さんへのやさしいお声掛けの有り様はと

でも親心に(親切)で私達にも感じられます。午後退院です感謝のうちに【お答え】 この度は、ご丁寧な謝辞をいただきありがとうございます。痛みが和らぎご退院されたこと、病院職員にとても大変うれしいことでした。これからも、いただいたお言葉を励みに、職務に努めて参りたいと思っております。 4階北病棟 地域保健課

新人看護師自ら入院生活を体験 ~これからも患者さん目線を大事にしたい~



4階北病棟 ながみね はな 長嶺 花菜

患者さんは疾患に対する不安だけでなく、入院で環境が変わり生活へのストレスも大きいと学ぶことができました。そのため、患者さんの治療に関するだけでなく、安楽な療養生活への支援も大切にしていきたいです。 看護師が忙しそうにしていると声を掛けづらくなる気持ちが分かり、できる限り患者さんの声に耳を傾け、また気がかりなこと打ち明けてくれるように、患者さんの気持ちがほぐれるような声や態度を心掛けていきたいです。 まだまだ技術や知識不足から普段の業務をこなすことに必死ですが、日々学習を重ね、患者さんと向き合う時間を少しずつ作ってまいります。

私は今まで病院に入院したことがなく、今回の入院体験が初めてでした。普段は看護師として患者さんと関わっていますが、患者さんの視点に立った時、非日常的な環境に孤独感、不安、緊張等多くの感情がありました。 特に、深夜のおしめ交換時の音、看護師間の話し声、足音等、慣れない療養生活では些細な事でも不安やストレスを抱きやすいと考えました。 入院体験を通して多くの気づきを得ることができました。忙しく業務に追われることもありますが、患者さんが安心して入院生活を送れるように患者さんに寄り添い、優しい看護ができるように頑張ろうと改めて思いました。 また入院は患者さんだけでなく、家族や社会といった患者さんを取り巻く環境にも変化をもたらすため、一つの側面だけでなくさまざまな角度からものごとをとらえることも必要であると学びました。これらの学びを今後の看護に活かしていきます。



2階西病棟 うらべ あおら 浦部 碧良

大切な医療情報を取り扱うプロ集団

〜今日も黙々遂行中〜

医療情報管理課

シリース 拝啓、組合員さんへ〜みずぎょうの各部署から〜

限られた職員しか来ない、そして患者さんはほぼ来ない、秘密組織のような場所にある部署といえ、医療情報管理課です。 仕事内容は大きく2つあります。まず、電子カルテシステムの管理やパ

ソコンと周辺機器の管理を主とするシステム系の業務です。 そしてもうひとつは、カルテの記録内容の点検や資料の貸し出し、医療統計やデータ抽出、全国がん登録をはじめとする

各種情報登録を行う診療情報管理系の業務です。現在7名のメンバーで、日々黙々と任務を遂行しています。周りでこのような仕事に就きたい人がいましたら、ぜひご紹介ください。 最後に、情報管理課のあるエピソードを披露したいと思います。年に1度くらい当職場に「喫茶店は?アルカンシエルは?」と訪ねて来られる患者さんやご家族がいたりします。その昔、喫茶店があった場所に、医療情報管理課はあります。(医療情報管理課)